

鹿児島県支部 新旧支部長対談

鹿児島県支部は令和元年(2019年)創立100周年を迎えた。その100周年を機に支部長交代を希望していた松下健一前支部長だったが、8月3日の総会でその申し入れが承認された。新しく支部長に就任したのは歴代支部長の元で副支部長の任にあつた西村正二郎校友。今回の支部長交代に当たり、三期の長きに亘つて支部長の任にあつた松下前支部長に任期期間中を中心に話を聞き、また、西村新支部長に就任に当たつて今後の抱負などを聞いてみた。

支部長時代 三期を振り返つて

●支部 松下前支部長殿、三期9年間支部長の任を務められ長い間ありがとうございます。ありがとうございました。支部長としての思いを是非お聞かせ願います。

●松下 いろいろあり過ぎて…(笑)

遡ること9年前の平成22年(2010年)9月4日、鹿児島県支部総会にて岩城前支部長の後任として、第8代支部長に

就任した訳です。支部はその前年に創立90周年を迎え、既に永い伝統のある組織でありました。就任の年の支部会報の挨拶文で「伝統を継承し、未来に向かって支部活動の活性化を進め、その発展に努力して行きたい」と書いたものの支部の活動をどう運営しようかいろいろと考えておりました。そこで根本に戻ろうとまずは

会則に目を通しました。校友会の目的は会則にありますように「東洋大学建学の精神を顕現し、会員相互の親睦を図り東洋大学の興隆発展に寄与すること」とあります。

つまり東洋大学校友会とは第1に親睦団体であるということ。第2に母校の発展に寄与する団体であるということ。経済的色合いや政治的な色合いを持つ会ではなく、あくまで親睦団体です。でも、私の支部長就任の以前から校友会は到底「親睦団体」とはいえないような事態も起きておりまして。それは支部のことだけでなく、全国支部長会議等に出席してもそれを感じておりました。残念なことに校友会を去つていく校友もいました。ですので、もう一度「親睦団体」の根本に立ち返ろうと思つたのです。「新卒の20代会員から100歳代の大先輩の方々まで多数の世代を超えていかにして交流することができるか」参加してよかつたと思つてもらえる会にするには具体的に

「母校の発展に寄与するにはどうしたら良いか」等々就任後の年間、運営に関して自問自答してきました。そこで引き出した答えが「支部100周年に向け新しいモデル支部を目指す」ということでした。平成23年の支部会報の挨拶文にその時の気持ちを述べております。

これからの校友会支部

新しいモデル支部を目指す

思い出せば、就任して翌年の平成23年は政治も経済も混沌の年だった上に、3月11日の東日本大震災、台風12号の風水被害、出水市の鳥インフルエンザ、奄美大島の百年に度と言われた、大雨災害が二度発生するなど全国的にも誠に災害の多い年でした。

そんななか「モデル支部を目指す」ということで、三期の間、多くの校友の力を借りることが出来ました。感謝の言葉しかありません。

具体的内容としては、校友会・浦水会合同新年会は箱根駅伝祝勝会も兼ねて定番になりましたし、数回ではありましたがお花見会も行いました。第一回目の花見会は校友の池田日道君のみどり荘で行いました。東日本大震災の直後でしたので、全国的に自粛ムードもありましたが、こう



前支部長(第8代) 昭和47年法
松下健一



「母校の発展に寄与するにはどうしたら良いか」等々就任後の年間、運営に関して自問自答してきました。そこで引き出した答えが「支部100周年に向け新しいモデル支部を目指す」ということでした。平成23年の支部会報の挨拶文にその時の気持ちを述べております。

これからの校友会支部



新支部長(第9代) 昭和44年文
西村正二郎



姿を見ております。この9年間、支部は活動的だったと思います。

昭和…当時の支部長の思い出

●支部 さて、松下前支部長は校友会に大変長く携わつておられますが、何歳の頃からでしょうか？

●松下 大学を昭和47年(1972年)に卒業し、それと同時に校友会に参加しました。当時の支部長は鹿児島県議会議長をされていた秋丸光良支部長(第4代目)でした。県会議員だけあつて話が上手でした。秋丸支部長のあとの木場正義支部長(第5代目)にはとてもお世話になりました。この頃から幹事長や代議員を務めるようになりました。九州ブロック会議など秋丸支部長その時は私はヒラでしたけど、木場支部長に幹事長にカバン持ち兼車付き運転手として連れて行ってくださいました。あの頃の私は30歳で松下産業を立ち上げて、ほんの二隣だけでしたがバブル期でしてクラシクな濃紺のベンツに乗つてました。多分、支部長達は私のベンツに乗つて会議とか行きたかつたんでしょね(笑)

思い出すのは、支部総会の日、始まる二

時間前に秋丸光良支部長や木場正義支部長が当時の私の狭い事務所に来られるんですよ。それで決算やら支部総会の準備をされるのです。それはまあ良いとして、いろいろな書類仕事でウチの事務員に清書を頼まれるんですけど、木場正義支部長は字が汚くて読めない(笑)

木場正義支部長のお兄さんは隆亮(たかすけ)といい第2代目の支部長でした。兄弟して校友会の支部長を務められお世話になりました。私は木場兄弟に可愛がられました。昭和62年(1987年)4月には木場兄弟と中国の長沙市(湖南省)に行つたこともありまして。当時、鹿児島市と長沙市は友好都市でして、私も木場兄弟に民間交流の雑用係として誘われたのですが、楽しい思い出です。6回ほど行きましたし、一度は人民日報にも載りました。支部での役員歴は幹事長が番長く20年ほど、副支部長10年、代議員は20年近くやりました。

東洋警備の名前の由来

●西村 松下前支部長は会社名を東洋警備とされていますが、あれはどういった

理由で命名されたのですか？

●松下 南薩摩の笠沙町という漁村から上京してきた私でしたが、東洋大学が拾つてくれたのです。入学と同時に空手部に入部、3、4年の時に全日本大会を連覇しました。4年の時は授業料を免除してもらいました。思えば東洋大学に育てられた4年間だったと思います。愛校心でしょうか、自社名を東洋警備と命名しました。

幅広い繋がりや知識はどこから

●西村 松下前支部長はいろいろな交流会、校友会本部の方々をよくご存知ですね。その繋がりはどうやって生まれているのでしょうか？

●松下 若い20代の頃から校友会に関わつていたということがあるからでしょう。それと意外と文化系・体育会系の両サークルサークル関係の人たちが代議員等を構成されているから、他の部の人と交際も愛校心の集まりということ直ぐに親しくなっています。

●西村 東洋大学や母校のスポーツ選手のことにも非常に詳しいですね。

●松下 東洋大学スポーツ新聞は卒業してからずっと購読しています。今は年間1500円です。東洋大学の名前が載っている週刊誌があれば片端から買っています。

西村新支部長に期待する内容

●支部 最後に西村新支部長に期待されることは？

●松下 西村先輩は人当たりが良く、そして校友に手紙をよく書かれたりとかママに動かれる方なので、副支部長、幹事長の経験を活かして頑張つて欲しいです。

●西村 了解しました。身の引き締まる思いですが、腹をくくろうと思います。



特別企画第一弾
鹿児島県支部創立100周年
鹿児島県支部 新旧支部長対談

●西村 私副支部長として松下前支部長が支部運営で本当によく働いている

いう時こそ旅館経営の池田君を応援しようとしてやりました。

また西村副支部長と一緒に浦水会の支部総会等に出席、浦水会と連携を図り若手会員を増やせるように動きました。

レディース会が暫く休止していたので、野村副支部長にお願いして活動を再開してもらいました。西元幹事長の力を借りて支部会報を年一回発行し、松永副支部長の力を借りて会計監査の充実化など。

体育会OBの先輩方の力を借りて、多くのスポーツ合宿の誘致・激励訪問、奄美大島に行き奄美の校友と交流を拡大、慶弔時にも会則の範囲内で執行部のメンバーで行くようにしました。

羽島前校友会長をお迎えして95周年記念行事もやりました。途中、本部の方で大幅予算削減などありましたが、これまでの支部の活動としては活発な方だったのではないのでしょうか。もちろん多くの校友の力があつたから出来たことです。

ただ残念だったのは、若い校友を思った程に増やすことが出来なかつたことです。これは新支部長にお願いいたします。

●西村 私副支部長として松下前支部長が支部運営で本当によく働いている

いう時こそ旅館経営の池田君を応援しようとしてやりました。

また西村副支部長と一緒に浦水会の支部総会等に出席、浦水会と連携を図り若手会員を増やせるように動きました。

レディース会が暫く休止していたので、野村副支部長にお願いして活動を再開してもらいました。西元幹事長の力を借りて支部会報を年一回発行し、松永副支部長の力を借りて会計監査の充実化など。

体育会OBの先輩方の力を借りて、多くのスポーツ合宿の誘致・激励訪問、奄美大島に行き奄美の校友と交流を拡大、慶弔時にも会則の範囲内で執行部のメンバーで行くようにしました。

羽島前校友会長をお迎えして95周年記念行事もやりました。途中、本部の方で大幅予算削減などありましたが、これまでの支部の活動としては活発な方だったのではないのでしょうか。もちろん多くの校友の力があつたから出来たことです。

ただ残念だったのは、若い校友を思った程に増やすことが出来なかつたことです。これは新支部長にお願いいたします。

西村新支部長 支部長就任にあたって。

●支部 西村新支部長にお尋ねします。これまで校友会での思い出などお聞かせください。

●西村 大学を卒業した昭和44年(1969年)の時、校友会の支部長(第3代目)が伊勢虎夫先生(鹿児島実業高校校長)だったので就職のお願いに行こうと計画しましたが、実業に行く前に母校の鹿児島高校へ面接に行ったら運良く採用されて、結局、計画倒れに終わったのを思い出します。

これからの活動方針

●支部 今回、支部長就任に当たり抱負をお聞かせください。

●西村 松下・松永・野村副支部長、西元幹事長、そして顧問の岩城先輩、相談役の渋谷青木高司先輩、幹事、監事の皆様方の協力をいただきながら校友会をより良い会になるように努力したいと思っています。

●支部 松下副支部長には前支部長としていろいろと相談に乗っていただいたり、東洋警備の会議室の借用や代議員として大学とのパイプ役をおねがいしたいです。

●西村 松永副支部長はとにかくマメで真面目な人、会計のことはもちろん、打ち合わせや総会等の議事録等全て記録して「あれは何だったかな?」等のすっきり忘れてしまっただったかな?」等、すっきり忘れてしまっただことは松永君に聞けば直ぐに答えが出てくる人なので本当に助かっています。これからもこの調子でお願いします。

●支部 野村副支部長には女性校友のとりまとめをお願いします。

●西村 西元幹事長にはまず支部会報の制作、そして校友会本部とのやりとりをお願いします。役員で頑張ってください。

●支部 松下前支部長が進めてこられた校友会合宿の誘致、奄美大島鉄紺会や浦水会支

部総会への参加等、引き続き交流を深め盛り上げていきたいです。そしてお一人一人のお名前を覚えたいです。

しっかりと臉に焼き付ける

また総会や懇親会に来られた校友の方々の顔をしっかりと臉に焼き付けたいという、そんな意識をもつて接していきたいと思っています。そのためにも単に総会の案内ハガキを校友会本部から一括発送するのではなく、私の一言コメントを添えて発送しようと考えております。

●松下 西村先輩がハガキに筆入れられているのは感心しています。ただ、あの枚数ですから、あれは大変な作業ですよ。筆不精な私にはとても真似できないですね。頭が下がります。

●西村 いえいえ。教職の頃、毎日のように生徒全員の答案用紙等にいろいろと書



新体制になっても顔ぶれは変わりません。これからも宜しくお願い申し上げます。

いておりましたので、書くのはちっとも苦じゃないんです。案内ハガキ以外に、支部会報を送り続けていることで「退職したので…」鹿児島に戻ってきたから…」という理由から「あの盛り上がりがある懇親会の写真に自分も加わりたいな」と思ってきたりだる方もいると思うのです。今年も近野さんという女性の方が鹿児島に帰ってきたからということで初参加して下さいました。嬉しく本当にありがたいことです。

歴代の支部長の方々への感謝

●西村 最後に歴代の支部長の方々についてお礼を申し上げます。

100年前の大正6年に初代支部長として坂元常盤氏が鹿児島県支部を立ち上げられた。これは全国で4番目です。新潟(明治19)・愛知(明治29)・山口(明治30)そして鹿児島でした。しかも、坂元支部長は40年近い長期間に亘って支部を運営され、昭和32年に老齢を理由に2代目の木場隆亮支部長にバトンタッチされました。そして伊勢虎夫支部長(3代目)・秋丸光明支部長(4代目)・木場正義支部長(5代目)へと続いていきます。後は皆さんの記憶に新しい村松勇支部長(6代目)として現在、顧問をお願いしている岩城健支部長(7代目)ですね。

この先代の先輩たちの志を受け継いで母校東洋大学の発展を祈念しつつ、お一人お一人を大事にしながら鹿児島県支部を盛り上げていきたいと思っております。

●支部 本日はお忙しいなか、松下前支部長、西村新支部長に対談いただきありがとうございます。支部の長い歴史の重みを感じるとともに、新しい支部のありかたを考えさせられたひとときでした。



特別企画第一弾 鹿児島県支部 新旧支部長対談

●支部 今の校友会について思っていることはありますか?

校友会について思っていること

●西村 100周年記念大会の時に本当に多くの校友が寄付をしてくださりました。この寄付は普段総会に参加していただく校友だけでなく、お名前は知っていてもまだ校友会に参加されたことの無い多くの校友の方々が寄付をしてくださりました。なぜ、そのような寄付をしてくださったか?と思うと、今、東洋大学が箱根駅伝、野球、ボクシング、水泳など大活躍していること。また、高校生の志望受験者数が近畿大学について第一位と大学が頑張っ

